

令和7年度 シラバス

教 科	国語	学科・学年	全学科 第2学年	単位数	2単位
		教 科 書	文学国語 （出版社名 大修館書店 ）		
科 目	文学国語	副 教 材			
科目の目標	(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 (2) 文学的な文章に親しみ、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 (3) 生涯にわたって読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
評価の観点	知識・技術【知】		思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【主】	
趣 旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。		自らの言語活動を振り返り、身に付けた知識や技術を生かして、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の考えを深めようとしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうとしたり、自分の考えを深めたりしながら言葉を効果的に使おうとしている。	

学期	学習内容	学習活動・学習のねらい	評価の観点			評価規準	評価方法
			知	思	主		
一学期	そとみとなかみ ナイン 晴れた空の下で 星取り 児の飴食ひたること 道程 小異異情	○筆者のいう「外側」と「内側」を理解し、外側と内側の関係について考える。 ○場面の設定の仕方を通して登場人物の心情を考える。 ○本文の描写や言葉遣いから「わし」の性格や心情をとらえる。 ○話のおもしろさと教訓をとらえる。 ○詩に表された作者の心情を読み味わう。	○			・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている ・作品に興味をもち、登場人物の言動や話のおもしろさを読み取ろうとしている。 ・文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。	学習プリント 定期考査 ノート グループ活動等
二学期	山月記 かぐや姫の昇天 月やあらぬ 神去なあなあ日常 鮑 思いを言葉に	○登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める。 ○漢文訓読調の文章の魅力を味わう。○相手に伝えることを意識してわかりやすい文章を書く。 ○基礎的な古典の背景を踏まえて、物語を味わう。 ○仕事や自然に対する描写を読み取り、ものの見方、感じ方を豊かにする。 ○この話に込められた寓意を読み取り、考えを深める。 ○読み手と自分の関係に注意して、相手に応じた内容や表現を工夫して書く。	○			・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。 ・古典の基礎的な知識を踏まえて、内容を理解している。 ・身近な事柄と結びつけながら、仕事や自然に対する描写を読み取ろうとしている。 ・文章の構成や展開、表現のしかたを踏まえて、内容を読み取っている。 ・読み手を想定して、相手に応じた内容や構成、表現を工夫しながら書こうとしている。	学習プリント 定期考査 ノート グループ活動等
三学期	身内ほど厄介なものはない 柿 はしたなきもの、手のわるき人の 行く川の流れ 恋の歌	○さまざまな文章を読み、構成や表現の工夫を読み取る。 ○語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について理解する。 ○古典の基礎的な表現技法、古典常識を知る。 ・ 詩歌の形式や表現の特徴について理解を深める。	○			・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 ・本文の内容を解釈し、文章の構成や表現の工夫について考えながら読みを深めている。 ・古典特有の表現や感性を知り、読み味わおうとしている。 ・詩歌を読むことに興味をもち、それらの形式や表現の特徴を踏まえながらそれぞれの作品に描かれている情景や心情を読み取ろうとしている。	学習プリント 定期考査 ノート グループ活動等